

第15回 GSJ ジオ・サロン 「水の座談会 ～食べて飲んで水を知る」開催報告

井川怜欧¹⁾・濱崎聡志²⁾・森田啓子³⁾

平成30年8月18日(土)午後、東京都千代田区PRONTO 神田店において第15回GSJ ジオ・サロン「水の座談会 ～食べて飲んで水を知る」を開催しました。ジオ・サロンはもともと地学や地質学に対する知識を広く一般の方々にも知っていただくことを目的として、以前は産総研内の地質標本館の一室を利用して定期的に開催されていましたが、昨年10月からは地質調査総合センターの研究成果の社会への普及を目的に、新たな活動として再出発しました。これを受け開催場所もつくばから東京に移し、食事を取りながら研究者と参加者がより近い距離でコミュニケーションを取れるスタイルを取り入れました。本活動は公的資金によるサポートが難しい事業の実施を対象とした募集特定寄付金GeoBankの支援を受けています。

開催日当日はお盆連休の末日ということもあり、集客

が心配されましたが、結果的に15名の方にご参加いただきました。今回のジオ・サロンでは、空気と同じように生物が生きていくために必要不可欠な資源でありながら、あまり身近な存在ゆえに普段考えることがない“水”をテーマとしました。話は2部構成とし、第1部では「水についての基礎知識」をテーマに硬水と軟水の定義から始まり、地球上の淡水と塩水の割合、水に関する学問の歴史と変遷、さらに水資源における地下水の位置づけなどを解説し、第2部では「社会をとりまく水問題」をテーマに世界と日本で起きている地下水管理の諸問題について質疑等を交えながら講演を行いました(写真1)。また講演前と、第1部と第2部の講演の間に、それぞれ試飲会を設けました(写真2)。2回の試飲会のうち、初回では硬度の異なる5種類の水と、それらの水で入れた



写真1 講演の様子

1) 産総研 地質調査総合センター 地圏資源環境研究部門

2) 産総研 地質調査総合センター 地質情報研究部門

3) 産総研 地質調査総合センター 研究戦略部

キーワード：水資源、地下水、利き水、水の硬度、水循環基本法



写真2 試飲会の様子

緑茶を、そして2回目ではコーヒーをそれぞれ味わっていただき、ご自分の好みにあった硬度の水を探してもらうとともに、軟水と硬水による緑茶やコーヒーの味の違いを体験していただきました。一般的に、緑茶やコーヒーは軟水で入れた方が美味しいと言われていますが、参加者の中にも硬水で入れた緑茶やコーヒーの方が美味しいと感じられる方も多数おられ、インターネットや雑誌に書かれてあることを鵜呑みにせず、自ら体験し、判断することの楽しさを改めて感じたという声をいただくことができました。このように今回のGSJジオ・サロンでは頭だけでなく舌も使って水のもつ不思議な力を体験していただけたと思います。今回、GSJジオ・サロンでの講演準備を進めるにあたり、参加者の職業や知識量が異なるため、どこに焦点を当てて話を構成していくかについて深く悩みました。最終的には、より多くの人に関心をもって頂けるように、1つ1つの話の内容をあまり掘り下げず、なるべく平易な言葉を使うように心がけ、代わりに自由討論の時間

を設けることで、より深い知識を得たい参加者の満足度を高められるような構成としました。また地質コンサルタント等の関連企業で働く方も出席されていたため、我々の研究成果を社会実装へとつなげるアイデアについて残りの時間で紹介しました。イベント終了後の参加者アンケートでは良かった点、今後の改善点、今後期待するテーマなど様々な意見がありました。また、イベントの最後には、黒島上席イノベーションコーディネーターからGeoBankについて趣旨説明と協力依頼がなされ、数名の方から会場にて直接ご寄付をいただくことができました。最後にこの場をお借りして、サポートをしてくださったGSJジオ・サロン事務局、地質情報基盤センター、地質標本館、研究企画室、地下水研究グループの方々、ならびに参加者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

IKAWA Reo, HAMASAKI Satoshi and MORITA Keiko (2018)
Report of 15th GSJ Geo Salon event.

(受付：2018年10月9日)